

# LION

## ライオン誌例会 開催ガイド

1. 通常例会編
2. 特別例会編

### 「ライオン誌例会のススメ」

今年度ライオン誌日本語版委員会は、クラブ例会でのライオン誌の活用を推奨しています。会員の皆さんにライオン誌にもっと親しみを持ってお読み頂きたいと願うと共に、ライオン誌を取り入れることが、とすればマンネリに陥りがちな例会に活気を与え、ひいてはクラブ活性化や退会防止につながるものと期待しているところです。

毎月のライオン誌には、国際会長の方針や全国のクラブのアクティビティ・リポートを始め、ライオンズクラブに関する豊富な情報が詰まっています。クラブ例会で、記事に掲載された他クラブの活動や、国内外のライオンズの動きを紹介したり、記事を材料に話し合いをすることによって、クラブ運営やアクティビティのヒントが見つかることでしょう。また、会員に新たな刺激や発見の機会を与え、ライオンズ活動への興味や意欲を高めることにもなります。

このガイドでは、通常例会の中に取り入れて手軽に実施出来る方法と、ライオン誌特別例会の実施方法を提案しています。ここに挙げた事例を参考にしながら、クラブの実情に合うテーマや手法を考えて、独自にアレンジをして実施してください。

今後も読者会員の皆様に愛され、待ち望まれるライオン誌を目指して、委員一同、力を尽くして参ります。貴クラブの益々の発展のため、ライオン誌をお役立て頂ければ幸甚に存じます。

2011-12年度ライオン誌日本語版委員会  
(2011年7月28日)

## 1. 通常例会編

毎月第1例会(ライオン誌最新号が会員に届いた直後に開かれる例会)で、あいさつや例会プログラムにライオン誌に関する話題を取り入れてみましょう。以下のような具体例の中から、貴クラブの例会プログラムに組み入れ易いものを見つけてください。

会長あいさつ

ライオン誌最新号の中で特に印象に残った記事に触れて、会員の皆さんにも閲読を勧める。

PR・情報委員長タイム「今月のライオン誌」

委員長が気になった記事や、会員に読んでほしい記事を選んで紹介する。

- 例)・国際会長の方針、国内外のニュース、各種行事(国際大会、OSEAL フォーラム)の情報
- ・自クラブのアクティビティの参考になる活動事例(「クラブ・レポート」)
  - ・印象に残ったエッセー、提言(「獅子吼」)
  - ・近隣クラブ、友好クラブなどが登場する記事

3分間スピーチ「私が読んだライオン誌」

ライオン誌の記事に関するショート・スピーチ。事前に指名を受けた会員が、ライオン誌で印象に残った記事を紹介し、それにまつわる感想、意見を発表する。

テールツイスター・タイム

ライオン誌の記事を材料にしたクイズを出題

- 例)「今月の表紙が撮影された場所は何県にある?」(三択問題)

## 2. 特別例会編

ライオン誌を活用した特別例会を企画してみましょう。ここでは二つの実施例を挙げました。「ライオン誌に親しむ例会」は、会員が記事に関する発表を行う内容です。ライオン誌への興味を高めると同時に、会員同士で情報を共有し合い、相互理解を図ることにもなります。「ライオン誌ディスカッション例会」は、記事を参考にテーマを選び、みんなで議論する例会です。アクティビティやクラブ運営について共に考え、知恵を出し合ってみましょう。ここに挙げた事例では、30~40分間を目安に実施出来る時間配分でプログラムを組んでいます。クラブで行いやすいよう、内容や時間配分を工夫して実施してください。

ライオン誌に親しむ例会(プログラム案)

PR・情報委員長のあいさつ 3分

開催の趣旨や、ライオン誌に関する説明

会員発表 1人3分・5人程度 15~20分

会員には例会前に過去3カ月分のライオン誌の中から、気になった記事、印象に残った記事をピックアップしてもらっておき、その内容や感想をスピーチしてもらう

プロジェクターとスクリーンを用意して、ライオン誌ウェブマガジン掲載の最新号またはバックナンバー(P4参照)を映写。発表で取り上げる記事を全員で見ながらスピーチを聞く  
ウェブマガジンの紹介 5分程度

バックナンバーの他、主要ニュースを掲載する「ヘッドライン」、全国のクラブが投稿する「クラブレポート」、統計、資料などを閲覧出来ることを紹介

ライオン誌ディスカッション例会

PR・情報委員長のあいさつ 2分

開催の趣旨や、進行に関する説明

ライオン誌記事とディスカッション・テーマの説明 3分

題材となるライオン誌の記事の概要を紹介。どんな目的で、何をテーマにディスカッションを行うのか説明する

プロジェクターとスクリーンを用意して、ライオン誌ウェブマガジン掲載の最新号またはバックナンバー（P4参照）から、該当記事を映写

ディスカッション 15～20分

少人数（5～6人）のグループに別れてのブレーン・ストーミングや、フリー・ディスカッションを行うことで、全会員が参加し、発言することが出来る

発表 10～15分

発表者（あらかじめ決定しておく）によるまとめの発表。グループ・ディスカッションの場合は、グループごとに発表を行う

クラブ会長による講評 2分

どのような成果があったか、今後のクラブの活動、運営にどのように生かしていきたいか、など

## 【ディスカッション・テーマの選定について】

ディスカッションのテーマは、ライオン誌の「THEME（特集）」や「ピックアップ」などの記事から選ぶことが出来ます。「THEME」ではライオンズクラブの活動をレポートしたり、環境保護、青少年などライオンズクラブ会員が高い関心を寄せる諸問題を取り上げています。「ピックアップ」では、クラブ運営など広くライオンズ全般の話題を扱います。次の例を参考にして、クラブ、会員の関心が高いテーマを選定し、ディスカッションを行ってみましょう。

4月号 THEME「東日本大震災」/5月号 THEME「今出来ること」 テーマ「災害対策を考える」

4月号では地元ライオンズの活動状況を含めた被災地レポート、5月号では日本各地の地区、クラブによる被災者支援活動を取り上げました。「地域での大災害発生にどう備えるか?」「近隣地域で大きな災害が発生した場合、どう対応するか?」など、クラブの災害対策について話し合います。

7月号 THEME「伝統文化を守り伝える」 テーマ「地域のニーズを探る」

記事では地域の伝統文化の継承に取り組む三つのアクティビティを紹介しました。自分たちの地域で、後世に伝えたい文化や歴史にはどんなものがあるか、それがどのような状況なのか、話し合ってみましょう。アクティビティのヒントとなる地域のニーズが見つかるかもしれません。

上に挙げたようなテーマ選定のヒントを、毎号「READERS ROOM」(54頁)の「ライオン誌例会のススメ」欄で紹介しています。参考にしてください。

## 「ライオン誌ウェブマガジン」とバックナンバー

ライオン誌では、最新ニュースや各種統計、資料、データなどの情報、本誌バックナンバーなどを掲載したウェブサイト「ライオン誌ウェブマガジン」を公開しています。

バックナンバーは、パソコン画面上でページをめくるようにしながら誌面を見ることが出来る、Eブックで閲覧することが出来ます。ライオン誌例会にぜひご活用ください。

<https://www.thelion-mag.jp>



トップページの「ライオン誌最新号」欄にある表紙写真をクリックすると、下のようない別ウィンドウでEブックが開きます。最新号のEブックは毎月1日に公開します。最新号より前のバックナンバーを閲覧する場合は、見たい号の年度をクリックしてください。右のページが開きます。



バックナンバーのページでは見たい号の表紙の画像をクリックすると、下のようない別ウィンドウでEブックが開きます。



Eブックのウィンドウ。ページの左右にある矢印をクリックするとページがめくれます。

## ライオン誌データ

ライオン誌『LION』=ライオンズクラブ国際協会公式機関誌。国際本部が発行する北米版・スペイン語版を含め、世界で21カ国語、33版が発行されている。

日本語版の創刊 = 1958年8月

現在の発行部数 = 101,800部 (2011年8月号)

発行日 = 毎月20日

投稿ページ = 「クラブ・リポート」クラブのアクティビティ記事の投稿ページ

「獅子吼」会員によるエッセー、提言の投稿ページ

\* 投稿要領は本誌54頁参照